

都道府県の名前と場所を見てください。

1. 北海道 ほっかいどう
2. 青森県 あおもりけん
3. 岩手県 いわてけん
4. 宮城県 みやぎけん
5. 秋田県 あきたけん
6. 山形県 やまがたけん
7. 福島県 ふくしまけん

8. 茨城県 いばらきけん
9. 栃木県 とちぎけん
10. 群馬県 ぐんまけん
11. 埼玉県 さいたまけん
12. 千葉県 ちばけん
13. 東京都 とうきょうと
14. 神奈川県 かながわけん
15. 新潟県 にいがたけん
16. 富山県 とやまけん
17. 石川県 いしかわけん
18. 福井県 ふくいけん
19. 山梨県 やまなしけん
20. 長野県 ながのけん
21. 岐阜県 ぎふけん
22. 静岡県 しずおかけん
23. 愛知県 あいちけん





24. <sup>み え けん</sup>三重県

25. <sup>し が けん</sup>滋賀県

26. <sup>きょう と ふ</sup>京都府

27. <sup>おおさか ふ</sup>大阪府

28. <sup>ひょう ご けん</sup>兵庫県

29. <sup>な ら けん</sup>奈良県

30. <sup>わ か やま けん</sup>和歌山県

31. <sup>とっとり けん</sup>鳥取県

32. <sup>しま ね けん</sup>島根県

33. <sup>おかやま けん</sup>岡山県

34. <sup>ひろしま けん</sup>広島県

35. <sup>やまぐち けん</sup>山口県

36. <sup>とくしま けん</sup>徳島県

37. <sup>か がわ けん</sup>香川県

38. <sup>え ひめ けん</sup>愛媛県

39. <sup>こう ち けん</sup>高知県

40. <sup>ふくおか けん</sup>福岡県

41. <sup>さ が けん</sup>佐賀県

42. <sup>ながさき けん</sup>長崎県

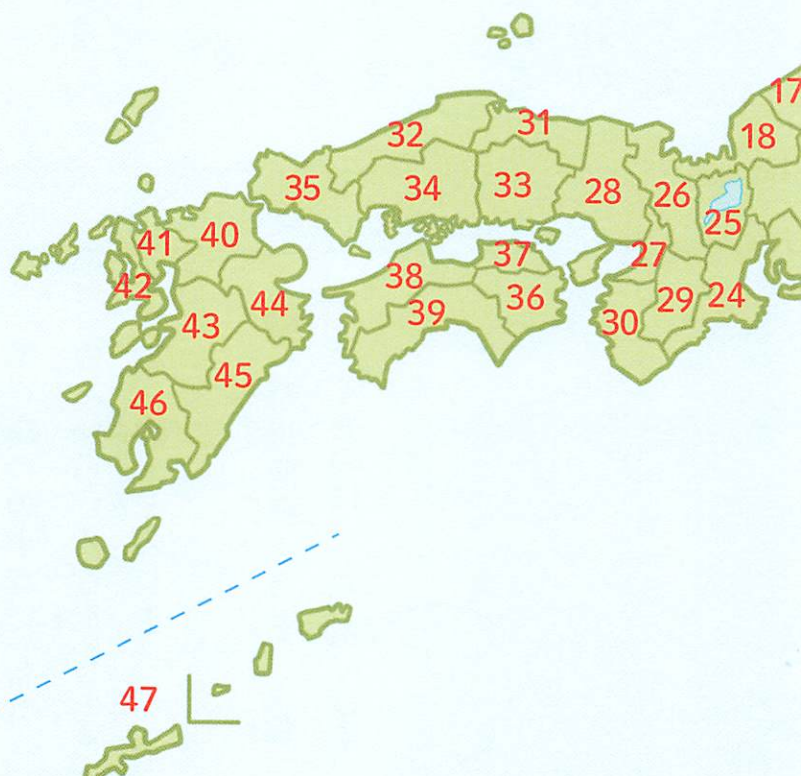
43. <sup>くまもと けん</sup>熊本県

44. <sup>おおいた けん</sup>大分県

45. <sup>みやざき けん</sup>宮崎県

46. <sup>か ご しま けん</sup>鹿児島県

47. <sup>おきなわ けん</sup>沖縄県





## 都道府県って、なに？

日本は、どんな形をしているか知っていますか。この本の2と3ページにある地図を見てみましょう。大きいしま、小さいしまなど、いろいろな形のしまがあつまっています。

日本全体を、四十七の地いきに分けたものを、「都道府県」といいます。

「都」がつくのは東京都の一つだけです。「道」がつくのは北海道で、これも一つだけです。「府」がつくのは、大阪府と京都府の二つあります。そして「県」がつくのは四十三あります。

いちばん大きな都道府県は、北海道です。いちばん小さい都道府県は、香川県です。それぞれの形をよく見てみると、いろんな形にも見えてきま



読んだ日

月

日

①

日本は、何があつまっていますか。一つに○をつけましょう。

ア 二つの大きいしま。

イ 二つの小さいしま。

ウ いろいろな形のしま。

エ 四十七のしま。

②

都道府県のうち、「都」がつくものはいくつありますか。

つ

す。たとえば山形県は女の人の横顔に、静岡県は金魚の形に、愛知県はくわがた虫の頭のようにも見えます。

みなさんがすんでいる都道府県は、どこでしょうか。見つけてみましょう。その上や下、右や左には、どんな都道府県があるのかも、かくにんしてみてください。



③ 都道府県のうち、いちばん数が多いものは何ですか。一つに○をつけましょう。

ア 都道府県  
イ 道  
ウ 府  
エ 県

④ 形が、女の人の横顔のように見える県は、どこですか。

県

⑤ 愛知県の形は、何のように見えますか。( )に合う言葉を書きましょう。

頭。  
の

# 当たるうらない

お寺の門の近くにいつも店を出しているうらないしは、とてもよく当たるといひょうばんです。その日は、天気もよく、うらないしの店のまわりでは、子どもたちがわいわいと元気に走り回っていました。

子どもたちがさわぐので、うらなってもらおうというおきやくさんが、さっぱりよりつきません。「おい、おまえたち、商売のじやまになる。どこかほかのところへ行つて、あそべ。」

と、うらないしがしけると、

「おじさん、よく当たるといひょうばんのおじさんだろ。」

一人の子どもが言いました。

① うらないしは、どこに店を出していますか。

② 子どもたちは、うらないしの店のまわりで、どうしていますか。――に合う言葉を書きましょう。

・  
に走り回っている。  
と元氣

読んだ日

月

日



「そうかそうか。よく当たるといいうわさがたっているのかい。わしもなかなかのものじゃないか。だがな、ここでおまえたたちがワーワーさわいでいると、うらなってもらいたいという人も、うるさくて帰<sup>かえ</sup>ってしま<sup>ま</sup>う。どこかほかのところ、あそんでおくれ。おまえたち、家はどこだ。どこから来た。」

「家がどこか当<sup>あ</sup>ててみな。当<sup>あ</sup>てたら、むこうに行<sup>い</sup>ってやるよ。」



③ うらないしが、子どもたちにどこかほかのところへ行<sup>い</sup>つてあそべとしかつたのは、なぜですか。一つに○をつけましょう。

ア 子どもがきらいだから。  
イ せまいところだから。  
ウ 商売<sup>しょうばい</sup>のじやまになるから。

④ 子どもは、うらないしがどうすればむこうに行<sup>い</sup>くと言<sup>い</sup>っていますか。( )に合<sup>あ</sup>う言葉を書<sup>か</sup>きましょう。

・  
分<sup>ぶん</sup>たちの家<sup>いえ</sup>がどこか、当<sup>あ</sup>てることができれば。  
で、自<sup>じ</sup>